

東海市農政協議会会議録

1 会議名 令和7年度東海市農政協議会（第3回）

2 議 題

(1) 農業振興地域整備計画について

(2) 地域計画について

(3) その他

3 開催日時 令和8年（2026年）3月18日（水）

午後2時～3時

4 開催場所 東海市立農業センター 大研修室

5 出席者

(1) 委 員

近藤洋子、久野光洋、久野良二、小島やよい、福田光太郎、木下俊春、三輪喜美子、板野浩美 計8人

(2) 事務局

環境経済部長 河田明、環境経済部農務課長 石松勝、
同主幹 角田大輔、同主事補 南日恒二郎

6 公開・非公開の別 公開

7 傍聴者数 0人

8 発言内容

【石松農務課長】

皆さんこんにちは。本日はお忙しい中第3回の農政協議会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。定刻となりましたので、ただいまから東海市農政協議会を開催したいと思います。本日、山中委員、加藤委員からご欠席の連絡をいただいておりますので、ご報告申し上げます。また、東海市農政協議会設置要綱第6条第2項に規定する開会の定数に達しておりますことも、ご報告を申し上げます。なお、この会議につきましても、審議会等の会議公開制度に基づきまして、公開で会議の方を進めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。それでは次第に基づき、会長からごあいさつをいただきたいと思います。

【久野会長】

(会長あいさつ)

【石松農務課長】

ありがとうございました。続きまして、環境経済部長からご挨拶を申し上げます。

【河田環境経済部長】

(部長あいさつ)

【石松農務課長】

ありがとうございました。それでは以降の議事進行につきましては、会長にお願いしたいと思いますので、よろしく申し上げます。

【久野会長】

それでは、本日の議題に入りたいと思います。

まず、協議事項(1)「農業振興地域整備計画について」を議題といたします。

事務局から説明をお願いします。

【事務局】

「農業振興地域整備計画について」概要を説明

【久野会長】

資料1の2ページにある基礎調査の抜粋について、現況の農用地面積が10年後の見通しでは約半分へと減少しているのに対し、経営体数は大きく減少していないように感じられます。どういったことが要因なのでしょう。

【石松農務課長】

過去の推移から試算した数字となるため、現時点で明確な根拠があるわけではございません。こういった厳しい見通しの中で、作物への高温対策の実施や新規就農者の誘致等、多角的な視点から減少に歯止めをかける支援を模索してまいります。

【小島委員】

資料1の6ページ中ほどにある表について、森林・原野の増加が見込まれていますが、何か理由はあるのでしょうか。

【石松農務課長】

遊休農地化した土地が、最終的に森林・原野になる場合が増えており、こういった状況を加味したうえで数値を算出しているため、記載のとおり増加の見通しとしています。

【久野会長】

農業委員会による農地パトロール等、遊休農地になる前に対策するのが重要ということですね。

【小島委員】

同じく6ページに安易な除外は抑制するとありますが、農用地を中心とした開発構想が同計画に載っているため、矛盾を感じてしまいます。

【石松農務課長】

開発構想エリアは、東海市都市計画マスタープランで新市街地候補ゾーンに位置付けられていることから、整合性をとるため記載しております。安易な除外の抑制は、個別案件を中心に抑制する方針としています。

【角田農務課主幹】

都市計画マスタープランと農業振興地域整備計画は表裏一体の計画であるため、その中で整合性をとると、どうしても矛盾を感じてしまう点は出てきてしまうのが実情です。

【小島委員】

土地改良が行われることで、かえって開発のきっかけになってしまうのですね。

【石松農務課長】

土地改良により農地が整備されることから土地造成がしやすくなり、開発構想が生まれやすいというのはあるかと思われます。

【久野会長】

他市町村と比較し、東海市は開発の構想が出てきやすいのでしょうか。

【河田環境経済部長】

既存の市内業者や新規参入を希望する業者ともに開発を検討する声を伺っております。特に臨海部に事業所を開設したい業者が多く、そうなるまとまった新田地域が目にとまりやすいのかもしれませんが。

【久野会長】

それでは、協議事項(1)の「農業振興地域整備計画について」はこれで終了いたします。続きまして、協議事項(2)「地域計画について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

【事務局】

「地域計画について」概要を説明

【久野会長】

耕作放棄地も目標地図に色付けされているのでしょうか。

【石松農務課長】

所有者が貸したいという意思表示をしていれば、色付けされます。

【久野会長】

耕作放棄地という情報は記載されないのですね。

【石松農務課長】

おっしゃるとおりです。

【久野会長】

他にご質問もないようですので、協議事項(2)「地域計画について」はこれで終了します。続きまして、事務局から共有事項があるため、説明を願います。

【事務局】

「農業機械作業による農作業事故について」概要を説明

【久野会長】

説明の中で出てきた農作業中の熱中症事故ですが、一人作業が多いことから、重症化しやすい部分もあるかと思えます。

【石松農務課長】

おっしゃるとおりです。どうしても一人作業が中心になってしましますが、複数人での作業を行うことが一種の対策になると考えております。しかし、農業法人については熱中症対策の計画策定が義務付けられましたが、個人農業者については策定義務がないため、難しい点もあるかと思えます。

農業機械作業による事故も、死亡事例が数多く見受けられます。仮に命に別条がない場合でも、怪我をきっかけに耕作を断念する方もいらっしゃるかもしれません。

【木下農政協議会職務代理者】

近年では、熱中症の危険を知らせるリストバンドのようなものも多数あるので、適宜ご活用いただければ、リスクの低減を図れるのではないかと思います。

【久野会長】

他にご質問もないようですので、以上をもちまして、第3回東海市農政協議会を終了いたします。

【石松農務課長】

皆様貴重なご意見ありがとうございました。会長につきましては、議事進行ありがとうございました。

【石松農務課長】

委員に対して事務連絡

協議事項を全て終了し、閉会。

令和8年（2026年）3月18日

会 長 久 野 光 洋